

第3回小平市第三次長期総合計画・前期基本計画検討懇談会 会議録（速報）

開催日時	平成18年3月29日（水）14時00分から 16時10分まで
開催場所	小平市役所5階505会議室
出席者	佐野会長、服部副会長、浅見委員、宇都宮委員、小川委員、加藤委員、神石委員、剣持委員、小林委員、佐藤委員、鈴木委員、鳥井委員、12名） 〔海上委員、篠崎委員、立花委員、森杉委員、谷委員 欠席5名〕 （事務局）昼間理事、水口参事、橘田副参事（㈱インテージ・大坂、須永） （市長）小林正則 （傍聴者1名）
会議次第	1．開会 2．検討懇談会運営事項確認について 3．市長あいさつ 4．小平市第三次長期総合計画・前期基本計画について 5．その他 6．閉会
配付資料	(1)「前期基本計画 小平市第三次長期総合計画・前期基本計画」 (資料1) (2)シンポジウム 15年後の「こだいら」の未来を考える PR用チラシ (資料2) (3)「第三次長期総合計画・前期基本計画」市報特集号(3月30日号) (資料3) (4)第2回小平市第三次長期総合計画・前期基本計画 会議録 確定版 (資料4)
委員	「小平市第三次長期総合計画・前期基本計画」の計画書の策定に従事できて感慨深いものがある。これから15年後どうなっていくのか。次世代を担う子供たちが小平で活躍してほしい。一人ひとりが15年後にどうしているか、自分たちの思いを伝えたい。交通の便利なところ、緑の多いところなど小平のいいところを伝えていきたい。
委員	P.46「地域活動・参加と協働」で、いかに地域社会をよくしていくかを考えた。ワークショップにも参加したがメンバーは44名だったが実際は36名といったところであった。 P.67「予定される計画事業」(1)「小川緑地の用地取得・整備」にかかわることができた。現地をいろいろ見てさまざまな提案をしてきた。また(5)「樹林地の用地取得の実現」や落ち葉を集めた集積所もつくった。地域活動はなんといっても参加が大切であるが、最近高齢者ばかりが目立つ。ぜひとも若い人にも参加してもらいたい。またそうして努力も必要だと感じ

委員	<p>ている。</p> <p>「前期基本計画 小平市第三次長期総合計画・前期基本計画」はよくまとまっている。P.102、P.106、P.112、P.116などの「本計画における基本方針」で感じるが、全体的に言葉の逃げている部分もあるが、これからやっていくことだからそうした表現も仕方のないことであると思う。今後は、そうした点も注目しながら市民とともに参加をしていきたい。</p>
委員	<p>今まで、行政に頼ってきた。市民一人ひとりの意識が醸成されないと、今後さまざまな取り組みをしていくことが難しいと感じた。少子高齢社会の現在、市民の意識改革が必要だと感じている。自分なりに活動していきたい。</p>
委員	<p>人口の推計を見て感心した。住むという観点からみれば「こだいら」は住みやすいと言われている。現在、商店は減少傾向にあって年間130もの店舗が減っている。小平市に税が入るような仕組みをつくってほしい。</p>
委員	<p>いまだに、まだこの場にいても、自分の立場がよくわからないところがある。今後は市民の成熟度にかかっている。15年後、市民がプロデューサーになるよう期待する。</p>
委員	<p>もっと小平市について勉強しておけばよかった。「前期基本計画 小平市第三次長期総合計画・前期基本計画」は表やグラフが多く取り入れられていて本当に見やすい。</p>
委員	<p>P.138「都市農業」に関して市民の80パーセントの人は農地を残してほしいと言っている。農業は生産性の低い業種だ。農地の放置が起こり、また農地を手放す際に市が購入できるような力もないからどんどん緑が減っていく。そのための政策が見えてこない。公共の緑を保存するために市民と行政が協力をしてほしい。こだいらの原風景の復活のために「東京都」「小平市」といった区別をせず、積極的な保存策を打ち出してほしい。</p>
委員	<p>「前期基本計画 小平市第三次長期総合計画・前期基本計画」には表やグラフが多く入っていてよいと思う。具体的な事業が記入されていて今後が楽しみである。市民の積極的な参加が望まれる。</p>
委員	<p>P.28「第5節 前期基本計画の前提条件」は現代においては大きく変わってくるような気がする。「前期基本計画 小平市第三次長期総合計画・前期基本計画」の章立ても市民の要求している優先順位に沿ってよいと思う。ぜひとも緑を小平市のかげがえのない財産として守ってほしい。</p>
委員	<p>P.142「分権型社会における自治体」にあるような広域的な考え方が必要だ。日々の生活圏においてもそうであるように、地域サービスや防犯・防災に関してもいっそう、そうした観点が必要になってくる。</p> <p>せっかく出来上がった「前期基本計画 小平市第三次長期総合計画・前期基本計画」である。今後どう活かすかが問われてくる。進捗状況を毎年確</p>

	<p>認できるようにしてほしい。また、行政の評価の仕組みをつくってほしい。NPO についての記述が少なかったように感じた。今後は NPO が育ちやすい仕組みをつくってほしい。市民にどれだけ愛着を持ってもらえるのかを考えてほしい。『シンポジウム 15 年後の「こだいら」の未来を考える』が先日あったようだが、内容が計画と繋がらないように思う。</p>
委 員	<p>「前期基本計画 小平市第三次長期総合計画・前期基本計画」しかここにはないのでわからないが、目次や資料は製本されるものにはきちんとついているのであろうか。先ほどの委員が言ったように 1 年ごとの検証をしてほしい。スパイラルアップの仕組みをつくってほしい。事後の評価をきちんと行って行政サービスの評価の仕組みを確立してほしい。</p>
事務局	<p>製本されたものには、目次も資料も入っている。仕組みとしては、3 年のローリングで実施計画を行っていく。</p>
委 員	<p>農業の関係で発言のあった委員に伺いたい。農地を有効に活かす方法はないものか。たとえば体験農地とか、なにかいい取り組みはないだろうか。</p>
委 員	<p>相続税の問題や特別農地は貸し出しができない仕組みが問題になっている。体験農地もいいが、もともと農民には人に教えることが苦手な人も多い。</p>
委 員	<p>学校の園芸用地といった利用方法もある。</p>
委 員	<p>ところで「こだいららしさ」とは何だろうか。シンボルみたいなものはあるのだろうか。</p>
委 員	<p>立川や吉祥寺のように、なってほしくない。</p>
委 員	<p>江藤俊哉さんや齋藤素巖のような人物、小平グリーンロード、平櫛田中館などよいものがたくさんある。</p>
会 長	<p>広域的・有機的に「こだいら」をとらえたらよいと思う。</p>
委 員	<p>みんなが耳を傾けることが大切だと思う。</p>
委 員	<p>夢のある「こだいら」をぜひともつくってほしい。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。これをもって最終回とさせていただきます。ありがとうございました。</p>

(文責：事務局)